学校番号	203

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「古典Ｂ」（文英堂）						
副教材等	完全頻度順　古文単語 325　改訂版（尚文出版） 完全マスター　古典文法（第一学習社） 完全マスター　古典文法　準拠ノート（第一学習社） 新総合図説国語（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ

・１年生で身につけた古典の知識を元に古典の力の充実に心がけましょう。
・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・本文の音読をしましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・意味調べや文法項目の確認等予習をしっかり行い、自分で現代語訳をし、古文を読む能力を養うことができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解し、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養うことができる。
・昔の人と現代人との考え方・感じ方について比較検討を行い、意見を発表することができる。
・昔の社会についての想像力を養い、視野を広げることができる。
・日本語の歴史を学び、言語文化の持つ豊かさを理解することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	・範読を参考にして、積極的に流暢に音読できる。 ・積極的に内容理解に努めている。	・作品の背景や登場人物について想像力を働かせて理解分析する。	・意味調べ・文法チェック等予習をしっかり行い、自分で現代語訳ができる。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	d	e		
1学期	一年の復習	【 古文 】 教材:随筆 十訓抄 「文字一つの返し」 「笛吹きの成方と名器「大丸」」	◎	○	○	a:流暢に音読できる。 d:主語を指摘でき、あらすじが正確に理解できる。話のおもしろみがどこにあるか捉えている。 e:一年次に学習した文法項目・「徒然草」の文学史上の位置づけの復習ができている。	行動の観察と確認 ノートの点検 ワークシートの確認 小テスト及び定期考査
	内容理解	【 古文 】 教材:随筆 枕草子 「中納言参りたまひて」	◎	○	○	a:登場人物の思惑、藤原摂関家と天皇家の関係性について理解できている。 d:表現のおもしろさに注目して、内容を理解することができている。 e:文法項目・「大鏡」の文学史上の位置づけを理解できている。	行動の観察と確認 ノートの点検 ワークシートの確認 小テスト及び定期考査
	時代背景および心情理解Ⅰ	【 古文 】 教材:随筆 方丈記 「ゆく川の流れ」	○	◎	○	a:時代背景や起きた出来事に着目し、当時の出来事や風習について理解しようとしている。 d:時代背景や出来事を踏まえつつ内容を理解することができている。 e:当時の社会の時代背景について理解できている。文法項目・「方丈記」の文学史上の位置づけを理解できている。	行動の観察と確認 ノートの点検 ワークシートの確認 小テスト及び定期考査
	時代背景および心情理解Ⅱ	【 古文 】 教材:物語 伊勢物語 「初冠」	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み理解を深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、和歌にこめられた心情を理解している。 e:文法項目・「伊勢物語」の文学史上の位置づけを理解できている。	行動の観察 記述の確認及び定期考査 小テスト及び定期考査
2学期	漢詩・漢文について理解する	【 漢文 】 教材:故事 「苛政猛於虎也」 教材:漢詩 「涼州詞」 「楓橋夜泊」	◎	◎	○	a:内容を理解し、故事成語が国を超えて長年文章の中に生き続けている意味を考える。 d:漢文訓読および漢詩の決まりを理解しながら本文を的確に理解・解釈することができている。 e:漢文訓読・漢詩の知識を身に付けている。	行動の観察 記述の確認及び定期考査 小テスト及び定期考査

	敬語の学習	【 古文 】 教材:随筆 徒然草 「相模守時頼の母は」	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み理解を深めようとしている。 d:敬語に気をつけながら本文を的確に読み解くことができている。 e:敬語の基礎知識を身に付けている。	行動の観察 記述の確認及び定期考査 小テスト及び定期考査
	王朝文学を理解する	【 古典 】 教材:日記 更級日記 「あづま路の道の果て」 教材:物語文学 源氏物語 「桐壺」	◎	◎	○	a:作品の魅力・当時の時代背景について理解しようとしている。 d:物語の知識をもとに、敬語に気をつけながら内容を正しく理解し、登場人物の関係性と心情の推移について理解することができている。 e:敬語の基礎知識・「源氏物語」「更級日記」の文学史上の位置づけを理解できている。	行動の観察 記述の確認及び定期考査 小テスト及び定期考査 調べ学習、グループワーク、発表
3学期	軍記物語を読む。	【 古典 】 教材:軍記物語 平家物語 「忠度の都落ち」	○	○	○	a:軍記物語の特徴について理解しようとしている。 d:時代背景や登場人物の心情の推移に着目しながら読むことができている。 e: 文法項目・「平家物語」の文学史上の位置づけを理解できている。	行動の観察 記述の確認及び定期考査 小テスト及び定期考査 調べ学習、グループワーク、発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。